

# 書籍「放射線を科学的に理解する — 基礎からわかる東大教養の講義」

鳥居寛之・小豆川勝見・渡辺雄一郎 著，中川恵一 執筆協力

訂正

2013.1.23

2章 p.29 脚注15

(誤) 制動放射の反応確率は，荷電粒子の質量の4乗に反比例するので，

(正) 制動放射の反応確率は，荷電粒子の質量の2乗に反比例するので，

3章 p.38

(誤) 金という元素を合成するためには，原子核自体をいじくって陽子 97個，中性子 118個からなる原子核を作り出す必要がある。

(正) 金という元素を合成するためには，原子核自体をいじくって陽子 79個，中性子 118個からなる原子核を作り出す必要がある。

3章 p.39

(誤) 電子のサイズであるオングストローム

(正) 原子のサイズであるオングストローム

3章 p.48 図3.5 (図中の右上)

(誤)  $^{238}\text{Th}$   $\Rightarrow$  (正)  $^{238}\text{U}$

3章 p.50

(誤)

$$\frac{dN_1}{dt} = -\lambda_1 N_1$$

$\Rightarrow$

(正)

$$\frac{dN_1}{dt} = -\lambda_1 N_1$$

$$\frac{dN_2}{dt} = \lambda_2 N_2$$

$$\frac{dN_2}{dt} = \underline{\lambda_1 N_1 - \lambda_2 N_2}$$

3章 p.52

(誤) 原子核と電子との間に働く電氣的な力 (クーロン力) が距離  $r$  に反比例しつつ

(正) 原子核と電子との間に働く電氣的な力 (クーロン力) のポテンシャルが距離  $r$  に反比例しつつ

4章 p.83

(誤)  $^{40}\text{K}$ からの 1.481 MeV の  $\gamma$  線

(正)  $^{40}\text{K}$ からの 1.461 MeV の  $\gamma$  線

10章 p.173 脚注4

(誤) 放射線物質  $\Rightarrow$  (正) 放射性物質

以上.